

重点戦略2 産業成長戦略

◆めざすとしぎの将来像

様々な産業が高い付加価値を生み出し、豊かさにつながる「としぎ」

1 未来を築く産業創出・成長プロジェクト

- ▶ 重点支援成長分野（半導体・ロボット・宇宙）の育成
- ▶ スタートアップ企業の創出・規模拡大 など

2 元気に輝く農林業実現プロジェクト

- ▶ 新規就農者の育成や企業の参入促進など農業の担い手確保
- ▶ デジタルデータの活用による林業のモデルチェンジ など

3 とちぎの魅力を生かした観光立県・国際戦略プロジェクト

- ▶ 日光自然博物館による情報発信強化
- ▶ 国際園芸博覧会を契機とした本県の魅力発信 など



▲ 切削加工現場におけるロボットの活用



▲ デジタル技術を活用したスマート林業



▲ 旅行商品の造成につなげる招請ツアーの様子

1 未来を築く産業創出・成長プロジェクト

○ ① 世界に誇るものづくり県強靱化プロジェクト事業費

2億2,974万円（産業労働観光部）

◇ 重点支援成長分野（半導体・ロボット・宇宙）の育成

- ▶ ◎技術力の高度化等を目的としたワークショップを開催し、半導体産業・ロボット産業への中小企業の新規参入を促進
- ▶ ◎宇宙ビジネスモデルの確立に向け、専門知識を有するメンターによる伴走支援等を実施

◎ ② ものづくり産業生産性向上支援事業費 物価高騰対策

2億319万円（産業労働観光部）

- ▶ 米国関税措置への対応として、ものづくり中小企業者等に対し、生産コスト削減のための設備導入経費を助成

◎ ③ 繊維技術支援センター整備費

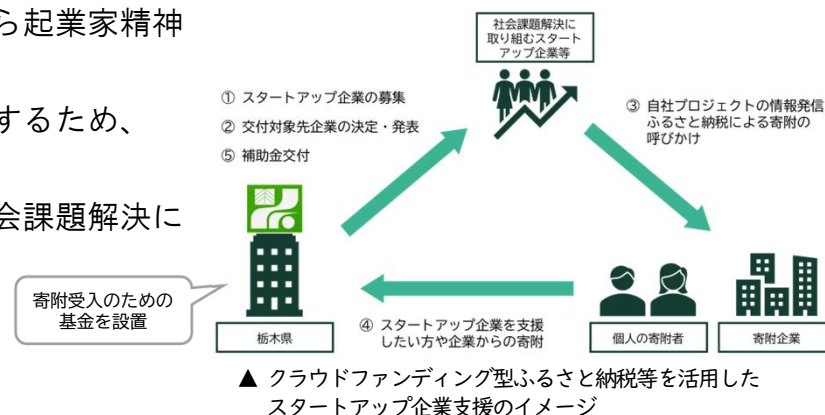
2,036万円（産業労働観光部）

- ▶ 新技術・新製品開発や人材育成の支援拠点となる繊維技術支援センターの現地建替を推進
〔R8年度〕設計、用地取得（R11年度末供用開始予定）
※R7年度2月補正予算で敷地測量や設計に着手

○ ④ スタートアップ企業支援事業費

4,301万円（産業労働観光部）

- ▶ ◎高校生を対象としたセミナーやワークショップを行い、早期から起業家精神（アントレプレナーシップ）を育成 若者会議
- ▶ ◎県内各地域でのスタートアップ支援コミュニティの形成を促進するため、起業家・支援者が集う交流会や大規模イベントを開催
- ▶ ◎クラウドファンディング型ふるさと納税等を活用し、県内の社会課題解決に取り組むスタートアップ企業等の資金調達を支援



1 未来を築く産業創出・成長プロジェクト (続き)

○ ⑤ 産業活性化金融対策費 1,185億4,323万円 (産業労働観光部)

- ▶ ◎「とちぎ人口未来アクションプラン」の策定企業を重点政策推進融資の対象に追加
- ▶ 物価高騰や米国関税措置などの影響を受ける中小企業の円滑な資金繰りを支援

◎ ⑥ 中小企業変革支援事業費 4,042万円 (産業労働観光部)

- ▶ 県内中小企業等の持続的な収益力向上を目指し、個々の企業の経営課題に応じた伴走支援を実施
(DX、人材育成、新商品開発、マーケティング、組織風土改革の5つの伴走コースを設定)

○ ⑦ 事業承継支援事業費 1,937万円 (産業労働観光部)

- ▶ ◎県内各地域での事業承継支援体制の構築に向け、市町と商工団体が連携して実施するモデル的な取組に対して助成
- ▶ ◎動画・リーフレットの制作や新聞広告の実施により、事業者等への意識啓発を強化

○ ⑧ 賃上げ環境整備等支援事業費 物価高騰対策 2,624万円 (産業労働観光部)

- ▶ ◎小規模事業者の賃上げ環境の整備に向け、商工団体が巡回指導・窓口指導の強化を図る取組に対して助成

◎ ⑨ とちぎ賃上げ加速・定着事業費 物価高騰対策 5億4,380万円 (産業労働観光部)

- ▶ 5%以上の賃上げと企業内男女間格差の是正に取り組む中小企業等に対し、支援金を支給

支給額	従業員1人当たり5.5万円
支給上限額	1事業者当たり110万円(最大20人分)

1 未来を築く産業創出・成長プロジェクト（続き）

○ ⑩ 戦略的企業誘致推進プロジェクト事業費

45億5,734万円（産業労働観光部）

ア 民間事業者による産業用地の整備促進

- ▶ ◎地域未来投資促進法を活用した整備モデル*の創出に向け、市町にアドバイザーを派遣して土地利用調整等を支援

*地域未来投資促進法による規制緩和の特例を活用することで、例えば、原則農地を転用することができない農用地区域内の農地や、市街化を抑制すべき市街化調整区域の土地であっても、産業用地としての開発が可能となる

イ 企業立地推進補助金による支援

- ▶ 県内産業団地等への企業立地や、立地企業の工場等新增設、女性雇用創出につながる企業のオフィス設置・移転などに対して助成

○ ⑪ とちぎ企業DX推進事業費

5,833万円（産業労働観光部）

- ▶ ◎とちぎビジネスA Iセンターの機能を拡充し、普及啓発や相談窓口設置などの取組に加え、企業へのDXアドバイザー派遣によるアウトリーチ型の支援を実施

○ ⑫ とちぎ技能五輪ネクスト世代育成事業費

1,270万円（産業労働観光部）

- ▶ ◎産業技術専門校に技能五輪支援コースを新設し、各競技に精通した講師による特別訓練を実施

※都道府県の職業能力開発校への技能五輪支援コース設置は全国初の取組

技能五輪全国大会（配管職種）▶
で活躍する本県選手



2 元気に輝く農林業実現プロジェクト

○ ⑬ とちぎの未来を拓く農業担い手総合対策事業費

7億9,477万円（農政部）

ア 意欲ある新規就農者の確保・育成

- ▶ ◎雇用就農者の確保・定着を図るための雇用者向け研修会を開催するほか、専門家や地域を含めた支援チームの伴走支援により第三者継承を促進
- ▶ ◎中高年（50歳以上）の新規就農者の経営開始・継承時における機械導入等に対して助成

イ 地域農業の未来を担う法人経営体の育成

- ▶ ◎土地利用型経営体を対象に、規模拡大や法人化など経営力強化に向けた意識改革を図るための研修会を開催

ウ 農地の受け手確保

- ▶ ◎地域農業の新たな担い手の確保に向け、企業の農業分野への参入を支援



▲ 新規就農希望者向け現場見学会の様子

⑭ とちぎの元気な森づくり県民税事業費

23億3,720万円（環境森林部）

- ▶ 森林資源の循環利用・若返りに向け、皆伐・再造林や獣害対策、里山林の整備・管理などを計画的に推進

⑮ 森林環境譲与税事業費

3億9,439万円（環境森林部）

- ▶ 民間の非住宅建築物の木造・木質化に対して助成
- ▶ 県林業大学校において、高校生から経営者まで各ステージに応じた研修課程を設け、林業人材を総合的・体系的に育成

◎ ⑯ デジタルデータを駆使した戦略的林業へのモデルチェンジ事業費

1,944万円（環境森林部）

- ▶ デジタルデータを利活用できる技能者の確保に向け、メーカー等による研修や技術指導を実施
- ▶ コンサルタント等による伴走支援を通じ、デジタル技術を活用して先導的な経営を行う林業事業体を育成

2 元気に輝く農林業実現プロジェクト（続き）

○ ⑰ とちぎ次世代スマート農業・農業DX推進事業費

1億8,087万円（農政部）

- ▶ ◎とちぎ次世代スマート農業推進センターの開設に向け、相談窓口となるウェブサイトの構築や実演ほ場の整備を実施
- ▶ ◎飼料作物生産の効率化を図るため、農地の集約化とスマート農業機器の試験導入を一体的に支援
- ▶ ◎県・生産者・企業が連携してスマート農業機器の開発・実用化に取り組む協議会を設置

◎ ⑱ とちぎグリーン農業スタンダード化推進事業費 物価高騰対策

9,000万円（農政部）

- ▶ 化学肥料・化学農薬の低減につながる栽培技術の導入等に対して助成を行い、価格高騰の影響を受けにくい農業経営への転換を促進

○ ⑲ 高収益水田農業体制確立事業費（一部再掲）

5億6,768万円（農政部）

- ▶ ◎地域の核となる100ha超の大規模経営モデルを確立するため、大規模化に向けた合意形成や、省力化技術等の実証を推進
- ▶ ◎収益性の向上につながる直播栽培の導入に対して助成

○ ⑳ 園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費（一部再掲）

9億2,502万円（農政部）

- ▶ いちごやにら、アスパラガスなどの生産拡大を図るための施設整備に対して助成（いちご高設栽培設備の導入や果樹園の高機能化を補助対象に追加）
- ▶ ◎気候変動対応技術の確立に向け、県内各地の実情に応じた暑熱対策のモデル導入に対して助成

暑熱対策の一例（天井部のフィルムを▶
開放できるフルオープンハウス）



重点戦略2 産業成長戦略

◎：新規 ○：一部新規

2 元気に輝く農林業実現プロジェクト (続き)

○ ②① 持続的畜産経営推進事業費

1,839万円 (農政部)

- ▶ ◎耕畜連携の強化に向け、水田における飼料作物の増産を図るための機械導入に対して助成

②② 食育推進全国大会開催事業費

3,902万円 (農政部)

- ▶ 第21回食育推進全国大会を本県で開催 ※本県での全国大会開催は初
〔開催日〕R8年6月6日(土)
〔会場〕県立宇都宮産業展示館(マロニエプラザ)等
〔主な内容〕食育活動表彰、ステージイベント、ブース出展



○ ②③ とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費 (一部再掲)

1億1,267万円 (農政部)

- ▶ ◎県産農産物の認知度向上を図るため、農業団体等が行う統一ロゴマークを活用した商品づくりに対して助成するほか、首都圏でのPRを実施



▲ 栃木県産農産物統一ロゴマーク「とちぎ育ち」

3 とちぎの魅力を生かした観光立県・国際戦略プロジェクト

◎ ②④ 日光自然博物館エントランス棟整備事業費

3,000万円 (環境森林部)

- ▶ 東武鉄道(株)による中禅寺温泉バスターミナル改修計画と連携し、県立日光自然博物館にエントランス棟を新たに整備することにより、観光・アクティビティ等の情報発信を強化
〔R8年度〕設計

県立日光自然博物館 ▶



3 とちぎの魅力を生かした観光立県・国際戦略プロジェクト (続き)

○ ◎ ②⑤ 地域における観光DX推進事業費 509万円 (産業労働観光部)

- ▶ ◎観光事業者のデジタル技術活用を促進するため、民間アドバイザーによる企業訪問やオンライン相談などを実施

◎ ◎ ②⑥ 新たな観光振興財源検討事業費 138万円 (産業労働観光部)

- ▶ 持続可能な観光地づくりに向け、宿泊税を含めた新たな観光振興財源について検討するための有識者会議を開催

◎ ◎ ②⑦ 国際園芸博覧会屋外出展事業費 3,230万円 (県土整備部)

- ▶ 本県の魅力や優れた造園技術力を発信するため、2027年国際園芸博覧会への出展に向けた準備を推進
〔開催地〕神奈川県横浜市 〔開催期間〕R9年3月19日～9月26日

◎ ◎ ②⑧ 国際園芸博覧会を契機とする誘客促進事業費 600万円 (産業労働観光部)

- ▶ 2027年国際園芸博覧会の開催を見据え、関西圏等の旅行会社を対象とした招請ツアーの実施や旅行商品造成への助成により、本県への誘客を促進

○ ◎ ②⑨ とちぎ農産物戦略的輸出拡大事業費 (一部再掲) 1億662万円 (農政部)

- ▶ ◎日本産いちごの未開拓市場であるアメリカへの輸出に向け、海外バイヤーを県内産地に招へい
- ▶ ◎「いちご王国・栃木」を世界に発信するため、デジタルメディアを活用した動画配信による海外向けプロモーションを展開

台湾での本県産いちごのPRの様子 ▶

